
混沌

巡芳もとめ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

混沌

【コード】

N3530BA

【作者名】

巡芳もとめ

【あらすじ】

2011年の春に

仕事行く時に携帯で書いたもの

浮かぶままにだーっと書いたので
なんのことかわからない

(前書き)

2011年の春に

仕事行く時に携帯で書いたもの

浮かぶままにだーっと書いたもので
なんのことかわからない

混沌とした感じ

孤独だったとき

過去と偶然は

まだ見ぬ計算外から生まれたものである。

未来と奇跡は

正しい方角へ歩みたいという祈りをよそに希望のずれから生じる未解決である。

どこへでも行けばいいよ。

考えなしに進んだところで、それも計算のうちなんだ。

頑張らなくても道は自然に開けるものさ。

それは個人の自由だろう。

ままならない今を動かそうと今を曲げようと試みたところで、

所詮それも偶然の産物から出来た曲がり角にすぎない。

まだ見知らぬ底に怯え天を見る事の矛盾。

さんざん走って神経を研ぎ澄まして逃げ切った道。

出会って間もない回り道に一旦退却。

そしたらまた見つかり、慌てて目的地もなしに逃亡。

影の裏の裏にまだ潜む過去の過ち。

できるだけ自由にゼロに限りなく近く自己をリセットしようとする。

まともな事なんて何ひとつ出来やしないさ。

走るのをやめ沈黙。

飾りつけた自己の欲に溺れ溶けゆく隙間に見つけた己の弱さ。
何度懺悔して立て直そうとあらゆる方法を乞うてみたけど、
根こそぎ変革することはなく、
その一点をただ見つめ、沈黙の中に身を置き耳を澄ます。
まだ何かの救いが残っていれば何かを伝えようとするはずだと。
見当違いな世界に生きてる気がして。

起き上がれない地下から這い出たら、
そこは自分のいるべき世界が広がってるかもしれないと期待を繰り返すんだ。
ここでないことは確かなんだと。

振り返ると、前いた世界にはまだ自分がいて、
両方の世界から逃れられないことに気がつき放心状態。
そしてどっちにも行けず、諦めることを覚えるんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3530ba/>

混沌

2012年1月9日02時48分発行